



学校訪問

学校自慢

部活動

第一中学校

荒川1-30-1

生徒が部活動を紹介！ 水泳部



東京都中学校水泳大会にて、多くの生徒が都大会出場を果たしています

オフシーズンでは週に2〜3回活動しています。ランニングや体幹トレーニング、筋力トレーニングなどのメニューを行っています。また月に1度、荒川スポーツセンターへ泳ぎに出掛けています。昨年度の荒川区民大会では50m自由形、200mメドレーリレーで男女共に優勝、女子50mバタフライでは大会新記録で優勝しました。都大会にも多くの生徒が出場し、関



▲昨年度の水泳部の集合写真。多くの大会で表彰していただきました

執筆 3年 佐藤玲

執筆者 3年 佐藤玲

私たちは荒川区唯一の水泳部に所属し、男子6名、女子7名、計13名で活動しています。オンシーズンでは学校のプールでは毎日練習しています。キックやスイム、飛び込みなどの練習に取り組み、ベスト記録の更新を目指しています。オフシーズンでは週に2〜3回活動しています。ランニングや体幹トレーニング、筋力トレーニングなどのメニューを行っています。また月に1度、荒川スポーツセンターへ泳ぎに出掛けています。昨年度の荒川区民大会では50m自由形、200mメドレーリレーで男女共に優勝、女子50mバタフライでは大会新記録で優勝しました。都大会にも多くの生徒が出場し、関

第二峡田小学校

荒川2-30-1

学校の自慢を児童が 紹介します



▲全校の一番を決める俳句相撲大会 ▲みんな真剣勝負の百人一首大会

第二峡田小学校の自慢はたくさんありますが、その中の三つを紹介します。一つ目は、俳句の取り組みです。季節ごとに俳句を作り、たてわり班で持ち寄って、班で紹介し合います。3学期には、全校俳句相撲大会が行われます。大会では、先生と児童で審査をし、優勝句を決めます。二つ目は百人一首です。たてわり班で行うたてわり百人一首と全校で行う全校百人一首があります。みんな、チャレンジオンを目指して練習します。上の句の初めを詠んだだけで札を取る児童もたくさんいます。学年に関係なく真剣に戦い、勝っても負けても、

とても楽しい取り組みです。三つ目はたてわり班活動です。一年生から六年生までの十人前後の人数で行います。その中で楽しい活動の一つはあいさつレンジャーです。登校時間に玄関前に立って、友だちや先生方、地域の方々にあいさつをします。元気にあいさつすることでお互いにいい気持ちになります。もう一つはたてわり班遊びです。学年関係なくみんなで遊ぶことで輪が深まります。この笑顔の絶えない活動をこれからもずっと続けていきたいです。

執筆 6年 茨木誠也
小島ななみ

奥の細道矢立初めの地 子ども俳句相撲大会

3月12日、素盞雄神社で、「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会」が開催されました。2人1組で俳句を詠み、トーナメント方式で俳句「横綱」の座を競いました。たくさん応募の中から、荒川区14チーム、「奥の細道むすびの地」の岐阜県大垣市の代表2チームが選ばれ、自作の俳句を披露。赤土小学校の染野美樹さん、第六日暮里小学校の富井裕太さんの「こっき山」チームが「横綱」になり、優勝杯を獲得しました。



▲1年生のチームが横綱になりました

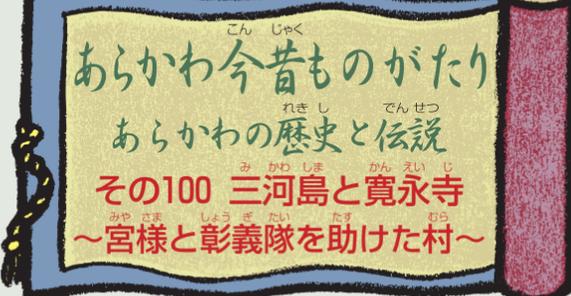
領主・寛永寺と三河島

今回は、三河島と上野戦争にまつわるお話だよ。

上野戦争の舞台となった寛永寺は、正式には東叡山寛永寺というんだ。京の都を護るために建立された比叡山延暦寺にならい、幕府がある江戸を護るために建てられた寺院なんだよ。東の比叡山の意味を込めて、東叡山の山号が付けられたんだって。將軍徳川家のお墓が有ることも知られてるよ。

江戸時代、三河島・町屋・谷中本・上尾久・下尾久・三輪・橋場・新堀・小塚原・中村など、荒川区内のほとんどの町村が上野の寛永寺の領地、つまり東叡山領だったんだよ。東叡山領は広大で、戸田・岩淵・峡田領の三つに分けられていた。新堀を除き区内の殆どは、峡田領に含まれていたんだって。

三河島村の人々は、輪王寺宮をご領主として尊敬し、6



宮様と彰義隊を助けた村人

上野戦争では、黒門の前で激戦が繰り広げられ、1日でも新政府軍の勝利で決着が付いた。彰義隊の隊士たちは、北側の谷中方面へ後退し、さらにその周辺の村に逃げ込んだ。中には寛永寺のご住職・輪王寺宮様に従った隊士もいて、その逃げた先が、東叡山領の三河島村だったんだ

今から148年前の5月15日、上野(台東区)のお山で戦があったんだ。明治時代を前にした慶応4年(1868)に起きた上野戦争だ。旧幕府軍方の彰義隊と新政府軍が上野の寛永寺内と戦ったんだ。この時、彰義隊の隊士たちが三河島に逃げ込んできたお話がいくつも伝わっているよ。みんなも聞いてみるよ。

交流都市・釜石市の中学生が荒川区を訪問

交流都市の岩手県釜石市から唐丹中学校の生徒が荒川区を訪問。震災の復興支援への感謝として、手作りのポスターを西川区長に手渡しました。また、区内の見学も行いました。



▲釜石市と荒川区は様々な分野で交流を深めています

月天王祭の時に、小室節という三河島の民謡を唄いながら、大きな人形を載せた3基の山車を上野の広小路まで引いていったんだってさ。ご領主の輪王寺宮様にお披露目したかったんじゃないかな。小室節は既に伝わっていないけれど、山車人形のうち、2つが今でも大切に保存されている。区指定文化財の熊坂長範と稲田姫の人形で、お祭りの時に三河島の稲荷神社(荒川三丁目)や区役所の近くの神酒所(荒川四丁目)に飾られるんだよ。

よ。輪王寺宮様の一行は名主の松本家、さらに植木屋伊藤七郎兵衛家などを転々としながら、上尾久の方に避難していったんだってさ。それに、彰義隊の隊士に染物屋の半纏を着せて逃がした話とか、刀を預かり蔵の中に匿った話なんかが残っているよ。

明治時代、村に初めて開校した小学校には、東叡山領ゆかりの地名が付けられた。そう「峡田小学校」。きつと三河島の人達は、將軍家ゆかりの寛永寺との歴史に誇りを持っていったんだね。

